



# 横田小だより



平成26年1月30日発行  
高岡市立横田小学校



## 「言葉」の力



校長 青井一恵

「おはようございます！」明るく大きな声とともに、手と手を合わせてハイタッチ。ぱんと手が触れ合うと自然に笑顔がこぼれます。1月28日から始まった「あったか運営委員会」による取組の一つです。また、朝の放送で、運営委員が「今日のあったか言葉」を毎日一つずつ紹介、玄関のホワイトボードに掲示しています。左下に記したものが30日の掲示です。

この取組は、年明け早々の10日に、「あったか運営委員会」から「横田小学校をもっとよい学校にするためにどうすればよいかを学級で話し合ひましょう。児童会スローガンにある三つの心『元気な心』『前向きな心』『あたたかな心』をもっと育てるためにどんなことに気をつけたり直したりしたらよいでしょうか。学級で目当てを考えましょう。」という提案がなされ、22日に各学級の意見をもちよって代表委員会が行われて、その話し合いの結果、実践していることです。

この取組から、言葉やスキンシップが、気持ちを明るく前向きにしてくれるのを実感します。

ありがとう  
ごめんなさい  
よかったですね



相手の心も自分の心も  
ぽっかぽか

みんなで言おう！

今日のあったか言葉

さて、今月15日に、5、6年生がスキー学習に行ってきました。

13班に分かれ、13名のスキー指導員の先生に教えていただきました。その中のお一人である此川氏から、手帳に記していつも持ち歩き大切にしていらっしゃる言葉を見せていただきました。80歳を超えてなおもかくしゃくと輝いていらっしゃる、とても魅力的なその方の人生観、生き様をお聴きするほどに、座右の銘のもつ大きな力を感じました。

いくつもある中の一つに、右記の「心訓」があります。

### 心 訓

辛いことが多いのは、  
感謝を知らないからだ。

苦しいことが多いのは、  
自分に甘えがあるからだ。

悲しいことが多いのは、  
自分のことしか分からないからだ。

心配することが多いのは、  
今を懸命に生きていないからだ。

行き詰まることが多いのは、  
自分が裸になれないからだ。

人は言葉で考え、判断し、表現して気持ちや考えを伝えます。どのような言葉を大切にして生きていくかによって、心持ちが決まり、行動が、習慣が、人格が決まり、そして、運命が決まってくるのだと思われまます。

小学校教育においても、よい人生を築き上げていくための礎となる力を育てていきたいと思ひます。

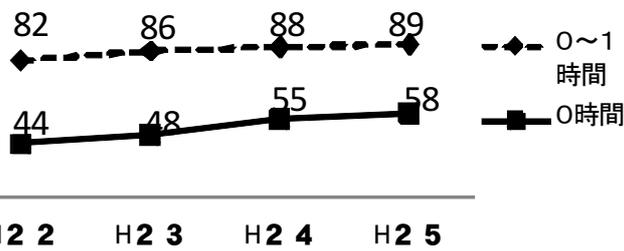


## 家族リフレッシュデーの取組より

保健主事



### ノーテレビ・ゲーム達成率



(H22~H24年度は1年間の平均達成率、H25年度は4月~1月の平均達成率)

毎月 10 日、「テレビやゲームのスイッチを消し、家族の団らんを楽しみ、早く寝て、心も体もリフレッシュしましょう」と呼びかけてから、4年が経ちました。

これは、4年間のノーテレビ・ゲームの達成率です。

毎年、少しずつですが、0時間に取り組む家庭が増えています。

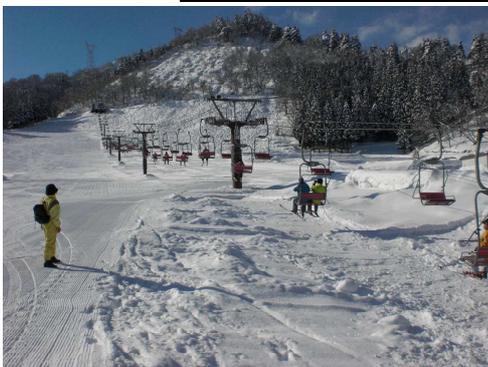
また、平均就寝時刻も4年前は9時23分であったのが、今年度は9時11分(1月現在)と早くなってきています。

保健室では、以前は体調不良で来室した子どもに「何時に寝たの」と聞いても、「分からない」と答える場面が多くみられました。今は布団に入った時刻を教えてください。寝る時刻を気にしていることが分かります。また、年の離れた兄姉と同じ時刻に寝て、よく体調不良を訴えていた子どもが、今年度は「9時には寝とるよ」と元気に答えてくれるようになりました。改めて早寝は大切だなと思います。

子どもたちが元気に学校生活を送ることができるよう、これからも「家族リフレッシュデー」にご協力をよろしくお願いします。毎月10日だけでなく、普段からテレビやゲームの時間を家族の触れ合いの時間にして、早寝ができればよいですね。



## 5年・6年 スキー学習 (タカンボスキー場)



1月15日(水)、すばらしい天候に恵まれ、5・6年生のスキー学習が実施されました。13名の指導者の先生方に来ていただき、5年生は7つ、6年生は6つの班に分かれて、それぞれ練習に励みました。

ゲレンデでスキーを履いて歩いたり、カニ歩きで坂を上って滑り降りたりして練習するうちに、子どもたちは汗びっしょりになりました。慣れた班から次々にリフトに乗って、山を上っていきました。

颯爽と滑ってくる子どもたちの顔は、とてもうれしそうで、満足した様子でした。ドキドキしながら初めてリフトに乗った子もいました。苦労しながら滑り降りた喜びを、友達と一緒に味わっていました。



- 先生にボーゲンのことをたくさん教えてもらいました。小さく回るボーゲンや、ボーゲンを使った降り方等、今までできなかったことが、たくさんできるようになりました。閉講式で「心と体、技術はその次」と言っておられたのを聞いて、スキーは技術よりも心と体を鍛えるスポーツなんだなと思いました。(5年)
- 去年はリフトに2回しか乗れず、上達した実感がありませんでした。今年は先生に「何事にも挑戦することが大切」と教わり、いろいろと挑戦しました。難しい所も、何度も挑戦した結果、転ばずに最後まで滑ることができ、達成感があふれ出してきました。すごく上達したと思えたり、また行きたいなという気持ちでいっぱいになりました。(6年)

指導してくださった先生方の話をよく聞いて、子どもたちは一生懸命、練習に取り組みました。年に一度のスキー学習ですが、学ぶことがたくさんあります。来年、5年生は更に上達して、6年生は中学校生活に生かして、それぞれに成長した姿を見せてくれることを期待しています。